

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
張り子の気球	中	つくるA (美術)	瀧井健太

<ねらい>

- ①「ちぎる」「はる」の作業を最後まで根気強く取り組む。
- ②風船に丁寧に紙を貼り付けることができる。
- ③つくりたい気球をイメージしながら、色を塗ったり模様を描いたりする。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①気球のイラストや動画を観て、「つくりたい！」気持ちを高める。
- ②風船を膨らませて、机にセロテープで固定する。
- ③和紙をちぎる。（ある程度大きくてもOK）
- ④風船に、洗濯のりを刷毛でつけながら、ちぎった和紙を貼り付けいく。
（できれば、2～3重に貼ると、丈夫に仕上がる。）
- ⑤2～3日吊って、乾燥させる。（乾いたら、風船を取り出す。）
- ⑥出来上がった円球に色を塗る。
（背面を塗ってから、ドライヤーで乾かし、前面に模様を描く。）
- ⑦ゴンドラを作り、紐で繋げて、できあがり。
（→紐で繋げるのは教師でしました。）

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・ちぎる工程は、単純作業で集中して取り組んでいた。（〇枚ちぎったら終わりなど終わりを明確にしておく方が良い。）
- ・風船に紙を貼り付ける作業は、風船を固定しながらで少し難しいが、生徒の工夫刷る姿が見られた。
- ・様々な気球の写真やイラストを観ることで、色とりどりの気球が完成した。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・和紙（障子紙）・風船・洗濯のり・牛乳パック・絵の具など

